

【滋賀県立武道館】
の指定管理者募集前におけるサウンディング調査実施結果

1 参加事業者数 【6】者

2 サウンディング調査結果の概要

サウンディング調査において、参加事業者からいただいたご意見等の概要は以下のとおりです。

指定管理料等について
●人件費や物価全般が上がっている状況を踏まえ、物価変動に応じて指定管理料等を上げることが必要と考える。 ●5年間の修繕費の見積もりについて、新規参入業者からすると見込むのが難しいので、期間中の修繕費について、あらかじめ提示等されていると参入のハードルは下がる。 ●修繕の分担ラインの100万円について、1回あたりの金額は100万円未満だが、何回も修繕が必要であることがわかっているものについては、合計額で県実施分として整理いただきたい。 ●管理料の入金は年度末に一括ではなく、直接労務費相当額は毎月入金等の対応があると参入しやすい。
指定管理期間について
●5年よりも10年のほうが投資が積極的に行える。 ●新規参入では10年の期間で申し込むのは不確定なことが多い。
その他
●管理業務の目標の設定について、「利用率」や「利用人数」を設定されると、新規参入者からすると、それが達成できるのか見当がつかない。例えば、事業やイベントを年間何回開催する事等の目標であれば見込みを立てやすい。
●指定管理者が前年度の12月に決定となると、スタッフの採用手続き期間が短いので、選定手続きをもう少し前倒ししてもらえるとよい。
●人件費内訳の参考として、人員配置計画の詳細を示してもらえるとよい。また、施設の設備についても、耐用年数等の詳細を出してもらえると助かる。 ●駐車区画が少ない。 ●施設予約について、県が統一的な予約システムを構築していただきたい。

●目標について、施設に具体的にどんな課題があるのかが示されているほうが提案がしやすい。

●駐車場について、機器が老朽化しているため、指定管理者または指定管理者の再委託で、県の負担なく設備を更新することが可能。